

会 議 録

1 会議名

平成29年度 第1回和田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）平成28年度地域活動支援事業の完了について（公開）

（2）和田区の地域課題について（公開）

3 開催日時

平成29年4月20日（木） 午後6時30分から午後7時41分まで

4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：水澤俊彦（会長）、橋本 勲（副会長）、秋山澄子、有坂正一、泉 幸雄、
市橋邦夫、岩澤 弘、植木泰行、笠原完治、小林春男、高橋善昭、
土屋史郎、平原 匡、前川正治

・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、榎島係長、小林主事

8 発言の内容

【榎島係長】

- ・14名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は水澤会長が務めることを報告

【水澤会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：高橋委員に依頼
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

—平成28年度地域活動支援事業の完了について—

【水澤会長】

次第3報告(1)「平成28年度地域活動支援事業の完了について」、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料No.1により説明

【水澤会長】

事務局の説明に質疑を求めるがなし。

—和田区の地域課題について—

【水澤会長】

次に、次第4議題(1)「和田区の地域課題について」に入る。

前回まで3回実施したグループ討議を踏まえ、全体で意見交換をすることを諮り、委員全員の了承を得る。

自主的審議事項として取り扱うかどうかも含めて議論することを諮り、委員全員の了承を得る。

まず、事務局に説明を求める。

【榎島係長】

資料No.3により説明。

【水澤会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

まずAグループの「雪」というテーマについて、意見交換をする。

Aグループの平原委員に意見を求める。

【平原委員】

雪を利用したイベントができればよい、という議論をした。安塚などで行われている灯の回廊にタイミングを合わせて、上越妙高駅前では何かをできればよいと。

上越妙高駅開業の時に東口で行われた、灯の回廊イン上越妙高駅のようなものができれば地域のまとまりになってよいという話や、雪室や利雪の先進地視察もよいと。それを地元の人に声をかけてもよい、そのようなことができればよいと、話し合った。

また地域協議会はイベントの実施主体になれないので、和田商工会や大和倶楽部（くらぶ）などに声をかけて、イベント等の取組を作っていくような動きができればよいという意見も出た。

【水澤会長】

有坂委員に意見を求める。

【有坂委員】

今は、地元の商工会などに提案や話し合いをし、どのような方向へ持っていくかという段階だと理解している。これから、どのように進めていくかを話し合っていかななくてはいけないと考えている。

【水澤会長】

これを自主的審議事項とした場合、みなさんと協議しながら、団体にいろいろなアドバイスができるのではないかなと思う。

【市橋委員】

グループ討議では、今年はまだ準備不足なので、まず大和倶楽部や和田地区商工会などに我々がうかがってお願いや意見交換をする場を作る必要があると。それと、雪室などの見学に行き、具体的にどのようなことを進めるかを勉強したいという意見もあった。

【水澤会長】

委員の中で勉強会や見学、視察をということ、また、イベントを考えてくれる団体や組織にいろいろなアドバイスができれば、ということだと思う。

雪をテーマに議論してきた。これを自主的審議事項にすれば、いろいろなことが

できると思う。

この3つのグループの意見については、全てを自主的審議事項とすることも可能だが、自主的審議事項としてふさわしいかということもある。

採決に入ることを求める。

【岩澤委員】

一つずつ採決するのではなく、3つのグループの意見を全て議論してから採決した方がよいと思う。

【水澤会長】

グループごとの発表は前回まで行ってきた。今日は自主的審議事項に取り上げるかどうかであり、その都度の採決でどうか。自主的審議事項は複数でもかまわない。後から優先順位を付けることもできる。

【市橋委員】

雪について、今年の冬には間に合わないと思うが、少しずつ今年のうちに見学をしたり大和倶楽部やPTAと話し合いをしたりして仲間づくりを進めて、来年以降に実施していくことはできないのか。

【水澤会長】

今日、自主的審議事項をいくつか決めた場合、優先順位を付けながら並行して議論していくことはできる。雪について取り上げた場合、先に視察見学などをしながら、別の自主的審議事項を並行して進め、皆さんがひとつひとつ解決していく。

事務局に確認を求める。

【榎島係長】

会長の説明のとおり。

自主的審議事項として取り上げたうえで、その審議の参考にしたり議論を深めたりするために、他の団体と意見交換をしたり見学に行ったりすることはできる。

いくつかのテーマを自主的審議事項とした場合、一つを終えてから次に進んでもよいし、いくつか並行して進めてもよい。

【水澤会長】

地域課題を議論してきた。任期はまだ長いので、いろいろな課題を自主的事項に

して検討していただきたい。

【榎島係長】

一旦、自主的審議事項としたテーマについて、必ずしも結論に至る必要はない。議論した結果、途中で審議を取りやめることもできるので、それを踏まえ議論を。

【水澤会長】

皆さんが課題として挙げてきたことについて、私たち委員が行動に移すことが必要だと思う。

一つずつ自主的審議事項として扱うかを採決することを諮り、委員全員の了承を得る。

Aグループのテーマ、「雪」について他に意見を求めるがなし。

「雪」を自主的審議事項にすることに賛成の委員に挙手を求め、全員の賛成により自主的審議事項とすることに決する。

BグループとCグループの「和田区の文化と歴史」を一緒にして議論を進める。

Bグループ笠原委員に説明を求める。

【笠原委員】

これに関しては、既に取り組んでいるグループがあり地域活動支援事業の提案書が出される予定。自主的審議事項とするテーマとは少し違う気がする。

【水澤会長】

3回のグループ討議では、和田の歴史をつくる会で取り組んでいることに対し、いろいろ話し合いをしたと聞いている。歴史をつくる会から、和田区の歴史書の編さんにあたり提案をいただければと思う。

笠原委員はこの取組に関わっているか。

【笠原委員】

私と土屋委員が。

大和地区と和田地区から横断的に十何名かが出て自主的に立ち上げ、歴史書をつくっていこうと。ついては地域活動支援事業の補助を得ようと。だから地域協議会で議論しなくても、提案が出てくる。

自主的審議事項にはふさわしくない。むしろ地域活動支援事業の提案書を審査採

扱するという事だと思ふ。おそらく今年提案がある。

【水澤会長】

今年度の地域活動支援事業に提案が出てくれば、それに対して私たちが審議をすればいいのであり、私どもで自主的審議事項とするものではない。

【土屋委員】

Cグループの「歴史」ではどんなことを考えたかということが問題。Bグループは和田村史を見直そうと話したが、Cグループでは歴史の看板を立てようという議論なのかもしれない。Cグループの意見も聞かないといけないと思う。

Bグループでは、地域活動支援事業に提案してくるつもりでいる。

【泉委員】

Bグループの議論は、歴史をつくる会の活動を報告してきたのか、それとも地域協議会としてこうあるべきだと議論したのか。歴史の会に入っている委員二人がBグループに入っているが。

【笠原委員】

両方である。

古文書を研究している人が大和にも和田にもいて、和田村史があるが難解なので現代版にもう一度編さんしようと立ち上げたところに自分も参加している。

問題は資金がないこと。助成先を探した時に地域活動支援事業に当たった。桑取など他の地区ではみんな補助を受けて作り上げている。

歴史をつくる会に在るからではなく、両方に顔を出しているから意見を言っている。

【水澤会長】

和田区では、地域活動支援事業に対する提案がもともと少なかった。そんな中、私たち委員は、いろいろな団体組織に対して地域課題の解決策の一つとして、地域活動支援事業を提案していただくような声かけやアドバイスができる。

この歴史をつくる会の取組については、和田の歴史を編さんしている組織から、今年度、次年度に編集、製本の費用について提案が出てくるということである。このことから、これを自主的審議事項としては扱わないという採決に入ることを求め

る。これは自主的審議事項とするのではなく、地域活動支援事業に提案され我々が審査するというだけでよいと思う。

他に意見を求めるがなし。

B、Cグループの「和田区の文化と歴史」を自主的審議事項とすることに賛成の委員に挙手を求め、挙手がなかったことから、自主的審議事項としないことに決する。

Cグループの「懇談会」について、Cグループの泉委員に説明を求める。

【泉委員】

議論したが、どうするかということにはならないと思う。

一番大きくまとまっているのは和田地区振興協議会で、商工会などいくつかの組織が全てこの中に入っていることから、この組織をどうしていくかを議論したらよいと考えている。この他に、体育協会や公民館和田地区館で活動しているグループとも接点をつくり、大きくまとめた方がよいと思う。

今まで議論してきたそのようなことを要望事項として、あるいは一緒に懇談会で考えていくように、お願いをしていったらよいと私たちは考えた。

この組織は、新幹線開業のために一生懸命活動していた。私たちが今、和田地区が振興し活性化するための取組を依頼することを考える時、ここに対してこれからも活性化し動く組織になっていただくように話し合う場を持つことが、この地域の活性化のための一つの方法だと思い、議論してきた。

【水澤会長】

いろいろな組織や団体との懇談会をテーマにして、どのように進めるか。

Cグループの高橋委員に意見を求める。

【高橋委員】

リーダー育成ということが挙げられたが、言葉で言えば簡単そうだが、非常に難しいと思う。自主的審議により、いろいろな意見を聞きながら細かいところまで考え、時間をかけながらそこへつなげられればよいと思う。

【水澤会長】

「懇談会」に「リーダー育成」「組織」を加えて一つにまとめることができるか。

委員に意見を求める。

【泉委員】

組織全体についてとすると大きな問題になるので、どのように整理するか。

和田地区振興協議会にすぐに提言しても駄目だと思うので、当面は和田地区振興協議会の皆さんと懇談会をして、その中でこのような組織にしたらい、してくださいというお願いをしていくことだと、私は思う。

改選前の会長と副会長は、地域活動支援事業の提案をしてくださいと町内会長会の会合に来て頭を下げて5分で帰ったが、これは懇談会にはなっていなかったと思う。懇談会は、じっくりと三役がよいのかおもだった方がよいのか、そのような方を相手に時間をかけて議論をしていくことが大切であり、そのようにする方が良いと私は思う。

【水澤会長】

テーマはいくつあってもよい。まずCグループの「懇談会」を自主的審議のテーマにするかを決めてから、深掘りしていくことが必要だと思う。

【岩澤委員】

懇談会は、あくまで地域協議会を理解してもらうためのものか。それともいろいろな面での懇談会か。例えば地域協議会がテーマを掲げて、地域の皆さんと話し合うのか。いきいきサロンでは、健康面を目的に話し合いやお茶会をしているが、そのようなものか。

【水澤会長】

私もCグループにいたのだが、当然この地域協議会を理解してもらうために、いろいろな団体や組織と懇談するということで、テーマに挙げた。

【岩澤委員】

分かった。

【笠原委員】

地域協議会は和田地区振興協議会と、自分たちはこのような課題認識があるので一緒に実現に向けて頑張りましょうというような懇談をして、地域協議会を理解してもらおうのだろう。

問題は、和田地区振興協議会が全町内会長、全農家組合長、商工会や農協も入る全てを網羅したぼう大な組織であるが、活動が停滞しているということ。新幹線が開業したあと余力を持っているのだから、私たちはこの和田地区振興協議会に問題を投げかけて一緒に進めることが一番よいと思う。

【泉委員】

指摘のとおり、和田地区振興協議会は停滞しているので期待してはいけないと思うし、このことは審議事項にしなくてよいと思う。

笠原委員が言われるとおり、地域協議会としては和田地区振興協議会に対し、和田地区の活性化のためにこんなことを考えている、こんなことを一緒に進めてほしいというような議論をするべきだと思う。

懇談会をする時には、和田地区振興協議会に消防団やPTAなどどんな組織を入れて全ての組織を網羅するか、お互いに議論をして活性化すればよいし、その中でこのように動いてほしいというお願いをしていくのがよいと思う。

これを継続してもよいし1回だけでもよいが、このような懇談会を考えたので理解してほしい。

【笠原委員】

私たちが引っ張るとのこと。そうしないと動かない。

【有坂委員】

懇談会を開くにあたっては、地域協議会として地域の活性化などの問題点をあらかじめ絞り込み、どのようにもっていくかを考えてから臨む、その方向性を決めていくことが必要と感じた。

【水澤会長】

そのとおり。

【笠原委員】

グループ討議を繰り返し、課題を絞り込んだ。次は、どの相手と一緒に組んで取り組むかである。われわれはどこかと一緒に取り組まなければならない。

【水澤会長】

和田地区振興協議会は、地域振興に関わる大きな組織だが活性化していない。過

去にはいろいろしてきたが、現在はそのような状況なことから、地域協議会として自主的審議事項に取り上げていくことが必要かと思う。

この「懇談会」の中に、「リーダー育成」とともに「組織」がどのように機能したらよいのかということも含めて考え、Cグループの「懇談会」、「リーダー育成」、「組織」を一つにしてよいと思うがいかがか。

【平原委員】

13区にはまちづくり振興会があり、地域協議会で揉（も）まれたことがまちづくり振興会に行っているような感じがある。

今の和田地区の問題はそこだと思っており、ここで揉まれたことをどこにバトンタッチしたらよいのか分からない状況がある。13区を参考に、組織を整え直すという方針で議論を進めた方がよいと思う。

【水澤会長】

一つひとつの団体が集まった大きな組織なので、まとめることが難しいところもあると思う。ただ、事務局がしっかりしていればできる。

大きな組織だが、地域の方がどれだけ理解していくかということも含め、このようなことをテーマにしていくのがよいと思うがいかがか。

【泉委員】

もともとこれは農業対策で、それから一步も脱出していない。

【水澤会長】

自分も和田地区振興協議会に入っているが、どうしても農協や農家組合が前面に出ているところがある。しかし、時代と共に変わっていかないといけないと思うし、文化、福祉、スポーツなども一つにまとめられる組織になれば、13区のまちづくり振興会のようになる。逆に13区のそのような組織を見学して教えてもらうこともよいかもしれない。

【平原委員】

柿崎や名立、中郷などは元気。もともとの町村だったところ。

【泉委員】

昔の町村のところ。

【水澤会長】

13区の問題で一番心配なことは、その組織がしっかりしていないと、区のまとまりがなくなってしまうということ。地域協議会会長会議や市議会議員懇談会でも、13区ではそのような組織がしっかりしており地域協議会がそこと一緒になって取り組んでいることを感じた。われわれ地域協議会と和田の組織との関わりを、しっかりもっていかなければならないと感じる。

前川委員に、意見を求める。

【前川委員】

Cグループ代表の泉委員が話したとおりに懇談会を開き、いろいろな意見や原因をつかみ解決し、より良い組織に結び付けていければよいと思う。その中にリーダー育成も入ってくると感じるので、懇談会を自主的審議に取り上げてもらうとありがたい。

【水澤会長】

他に意見を求めるがなし。

Cグループの「懇談会」、「リーダー育成」、「組織」の三つを一つに扱うことを諮り、委員全員の了承を得る。

「懇談会、リーダー育成、組織」を自主的審議事項とすることに賛成の委員に挙手を求め、委員全員の賛成により自主的審議事項とすることに決する。

自主的審議に係る提案書は、提案グループの委員が連名とすることを諮り、委員全員の了承を得る。

正式な自主的審議事項の決定手続きは、提案書の提出後5月25日の地域協議会で行うことを諮り、委員全員の了承を得る。

—事務連絡—

【水澤会長】

事務局に事務連絡を求める。

【佐藤センター長】

- ・次回協議会：5月25日（木）午後6時30分～ ラーバンセンター第4研修室
- ・ニュースレター「創造行政」、ウィズじょうえつからのおたより配布

【水澤会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。